

JADA

全国自動ドア協会

125

Jul. 2026

JADA 会報

Japan Automatic Door Association

特集 2026年度 定期総会

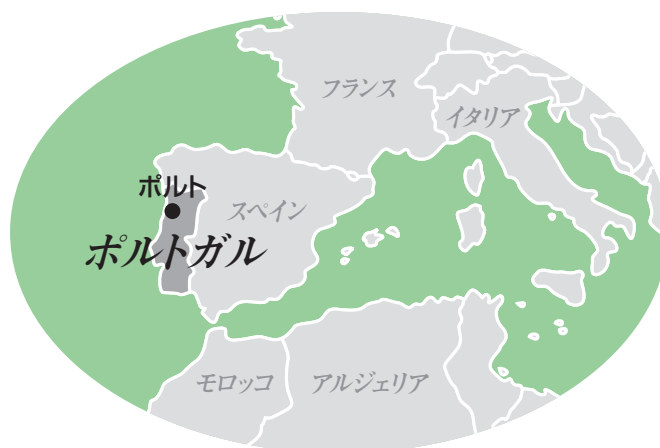


世界遺産：〈ポルトガル〉サン・ベント駅（ポルト歴史地区の文化遺産）

JADA

Cover Story

JULY 2026 NO.125



青のアズレージョが歴史を語る芸術の駅舎

ポルトガル北部の都市ポルトにあるサン・ベント駅は、20世紀初頭に建設された歴史ある鉄道駅。かつてベネディクト会修道院があった場所に建てられ、1903年に着工、1916年に完成した。駅の最大の見どころは、広々とした中央ホールを埋め尽くす約2万枚ものアズレージョ（アラビア語の“光る石”が語源）。青を基調とした美しいタイル画には、ポルトガル王国の歴史的な戦いや戴冠式、農村の暮らし、人々の日常風景などが繊細に描かれている。

これらのタイルは、ポルトガルを代表する画家ジョルジュ・コラソによって制作された。青色はポルトガルの伝統文化を象徴する色彩であり、光の加減によって表情を変える幻想的な美しさも特徴。駅舎は単なる交通施設ではなく、芸術と歴史が融合した文化空間として高く評価されている。青と白のタイルが織りなす壮麗な景観は、ポルトを代表する文化遺産として今も多くの人々を惹きつけている。

画：杉井洋一

Contents

2026年（令和8年）度 定期総会

会長のごあいさつ	4
事業活動報告	5
役員一覧	6
記者会見（質疑応答）	7
HOTLINE ● 優秀自動ドア技能士、海外通信	8～9
技能検定合格者発表	10
技術部会合同会議	11
物語の中の自動ドア	12
JADA PROFILE ● 北陽オートドア株式会社	13
JADA Archive	13
賛助会員のページ ● 旭光電機株式会社	14
事務局から	15
私の故郷	16
2026年度スケジュール	16

2026年度定期総会

2026年6月10日、東京都港区のアジュール竹芝にて、2026年度定期総会が開催されました。

総会では、2025年度の監査報告、事業報告および決算報告が行われ、これらの承認がなされました。

続いて、2026年度の事業計画案及び収支計画案が議案として附議され、いずれも原案どおり承認されました。

また、第三号議案として「全国自動ドア協会 一般社団法人化方針(案)」が附議され、承認されました。



内田会長



左から、古野副会長、花房副会長、吉田広報委員長



左から、高杉安全委員長、小崎技能開発委員長、武藤企画委員長、林技術基準委員長

ナフサショック、建設コストの高騰に負けず、 お客様のご要望に着実に応えていく

全国自動ドア協会会長 内田 正則

皆様におかれましては、日頃から当協会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

改めまして本日はご多用の折、全国自動ドア協会2026年度定期総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

さて、昨年度の世界情勢はというと世界各所での紛争事案が目立ち、中東イスラエルでの紛争は10月に停戦したものの、ウクライナへの侵攻は4年が経過するも未だに終わりは見えておりません。加えてアメリカによるイランへの軍事攻撃の影響でホルムズ海峡が事実上封鎖され、中東情勢が紛糾状態となり世界各国で原油供給に甚大な支障が生じ経済への悪影響が続いております。

伴い、日本経済も賃上げやインバウンド需要により緩やかな回復基調が続いてはおりますが、我が国は中東貿易への依存度が高いため、ホルムズ海峡の封鎖による影響は大きく、エネルギー価格の高騰にとどまらず企業活動や家計への様々なマイナスインパクトが生じております。また、ナフサショックは建設業にも及んでおり、関連資材の納期遅延や価格高騰が業界を揺さぶっております。

高市政権にとって「イラン」は想定外の出来事であったと思われそうですが、主要政策の「責任ある積極財政」による物価高に対応した経済対策の実現に期待します。併せて、我々も常に経済状況を注視し、物価・コスト・賃金のバランスを考慮した柔軟な対応を取っていく必要があると考えます。

この様な状況下、2025年度の国内向け自動ドア据付台数は前年と横ばいの136千台強(前年比99.3%)、また、生産台数は輸出の伸びはありましたが、分母の大きい国内の減少により145千

台強(前年比99.1%)に留まりました。そして、2026年度も自動ドアの大幅な需要増加は見込むことができず、総生産台数は149千台弱程度と予測しております。

今期の我々を取り巻く環境は設備投資こそ緩やかに増加傾向ながら、公共投資・建設投資は横ばいないし減少傾向とも言われ、プラス要素は殆ど見当たりません。加えて、首都圏一極集中と地方の需要減少の更なる深刻化、そして、今もなお高騰を続ける建設コストが障害となり、案件計画の中止や見直しも続出しております。しかしながら、当業界としては「お客様のご要望に着実に応えていくこと」が最も重要であるという考えに変わりはございません。

本年度、当協会としましては、事業計画にもあります通り、次の点を重視し適時適切な活動を行ってまいります。

▶安全性向上事業として、自動ドアの安全に関する研究並びに立案、JIS A 4722「歩行者用自動ドアセット安全性」の利用者及び関連主体等への安全啓蒙活動、当協会内における事故報告集計と分析を行い、更なる安全向上に努めます。

▶技術基準の制定・改定においては、関連基準の制定・改定に対する対応。関係官庁、関連団体との技術基準情報の交換。関係規格の研究と対応に努めます。

▶JIS 啓蒙活動と制定後の市況調査及びJIS 対応製品の更なる需要拡大の活動を継続いたします。

▶自動ドアの適切な施工ならびに点検整備の必要性をご理解いただく

と共に、安全・安心の提供のため、自動ドア施工技能士の育成と一層の充実に努めます。併せて、当協会に所属する自動ドア施工技能士従事者数の現状調査を定期的に行います。

▶協会会報・ホームページを十分活用し、JIS 制定に関する周知活動を継続いたします。

▶会員知識向上のための研修会企画・運営ならびに事業運営に関するコンプライアンスへの取り組みを強化してまいります。

最後になりますが、全国自動ドア協会は、会員各社が今まで以上に協力し合い、自動ドアの必要性・有用性を広くご認識いただくことでの更なる社会インフラの維持、そして何より安全と安心の提供に取り組み続け、自動ドア業界の継続的な発展と存在価値向上に寄与できるよう、より活発な活動と努力をしてまいります。

今後とも皆様のご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。



事業活動報告

2025年度の国内市場は、資材価格、人件費の高騰などにより建築工事計画の着工遅延や計画の中止・規模縮小などの影響により、生産台数においては前年度比1.6%の減少となりました。海外市場に関しては、前年度比9.1%の増加となり新型コロナ蔓延以前に戻った状況となりました。国内の据付台数は前年度比0.7%減少の136千台となりました。

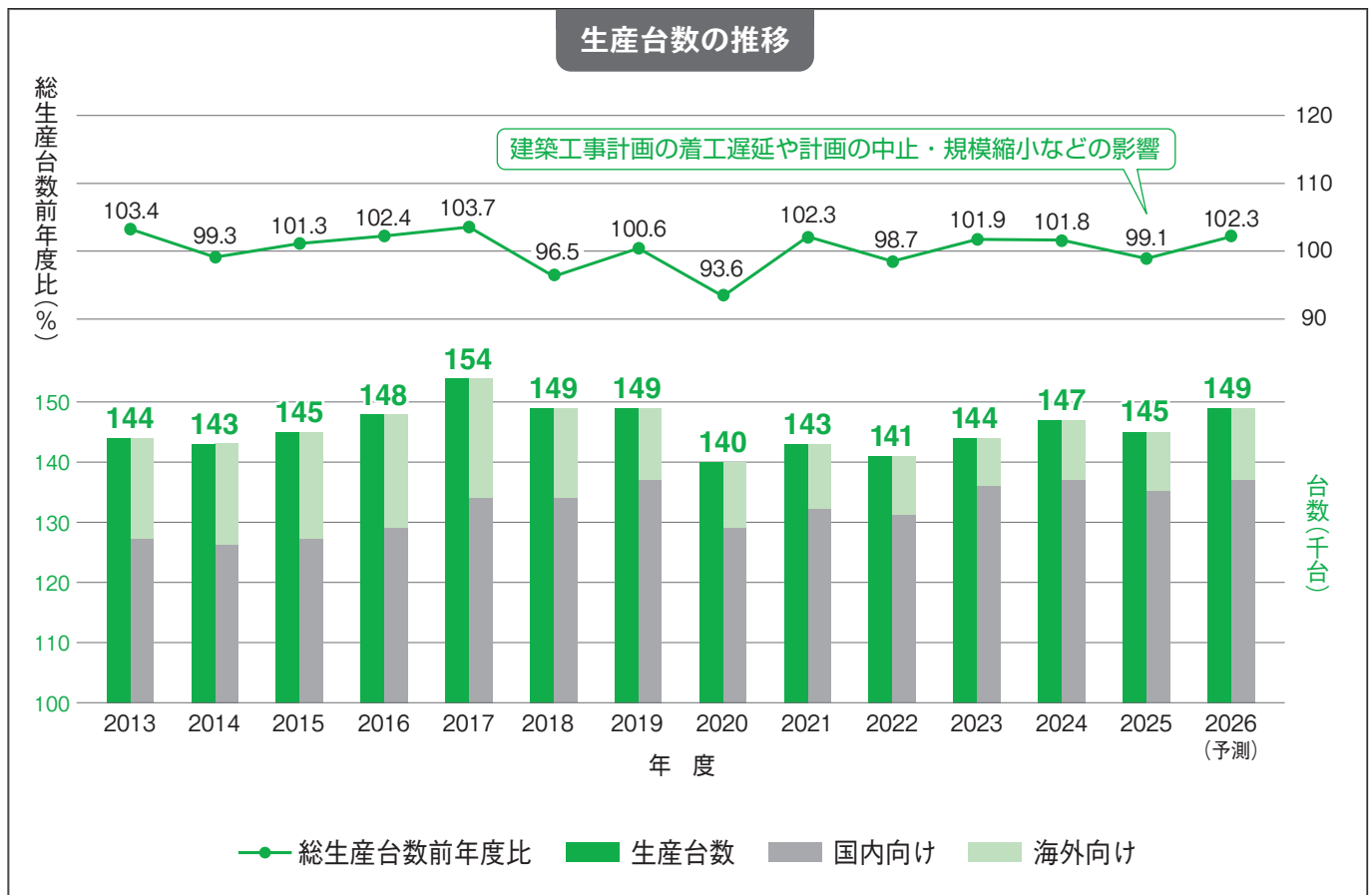
自動ドアの需要動向

2025年度の自動ドア生産台数の実績

国内向け台数 135千台/年(前年度比 98.4%)

海外向け台数 10千台/年(前年度比 109.1%)

総生産台数 145千台/年(前年度比 99.1%)



2026年度においては不安定な世界情勢や石油価格の高騰に端を発した資材価格の高騰や供給不安等により、市場の混迷が続くことが予想されますが、国内向け137千台、海外向け12千台、総生産台数149千台を見込んでおります。

2025年度の国内向け生産台数の75%が自動ドアの安全規格JIS A 4722に準拠した駆動装置であることを確認いたしました。今後も安全規格に準拠した自動ドアの設置を目指してまいります。

2026年度	予 測
国内向け生産台数	137千台
海外向け生産台数	12千台
総生産台数	149千台

自動ドアの安全に関する取組み

当協会は、自動ドアの安全確保に関する活動として通行者の安全を実現するエントランス環境づくりのための研究と諸施策を継続して実施しています。

通行者への安全啓発冊子である「自動ドアを正しくご利用いただくために」を「自動ドアを安全にご利用いただくために」とタイトルを変更したうえで内容の改訂を実施いたしました。



● 技術基準等の改定活動

自動ドア開閉装置の性能規格（JIS 規格）制定に向けて、2024年2月に日本規格協会の「JIS 原案作成公募制度」に応募しました。その後、技術基準委員会を中心とした原案作成委員会（原案作成委員会・分科会）において協議を行い、2026年2月に自動ドア開閉装置の性能要求事項（JIS A 4723）が制定されました。あわせて、自動ドア開閉装置の試験方法（JIS A 1551）も改正されました。

● 自動ドア施工技能士の現状

厚生労働省認定国家資格である「自動ドア施工技能士」の2025年度技能検定試験が2026年1月から2月にかけて全国で実施され、2025年度は、266名が受検し、実技と学科を合わせた厳正な検定の結果、193名の合格者が発表されました。

これにより自動ドア施工技能検定試験の全国累計合格者数は、1級が4,289名、2級が4,253名となり、合計8,542名となりました。施工技能士は、自動ドアの安全性を確保し、快適な性能を提供し、施主・建物管理者の皆様の満足度を高め、自動ドアを利用する通行者の皆様の信頼を戴くうえで大変重要な役割を担っています。

■ 自動ドア施工技能検定 合格者数

年 度	1級技能士	2級技能士	合 計
2024年度 検定合格者	90人	94人	184人
2025年度 検定合格者	115人	78人	193人
合格者の 累計人数	4,289人	4,253人	8,542人

● 協会役員一覧（2026年度）

■ 会長

内田 正則

ナブコシステム(株)
代表取締役社長

■ 副会長

花房 剛

ナブテスコ(株)
常務執行役員
住環境カンパニー社長

■ 副会長

吉田 毅

寺岡オートドア(株)
代表取締役社長

■ 総務部会長 兼 広報委員長

古野 元昭

フルテック(株)
代表取締役社長

■ 技術部会長 兼 技術基準委員長

林 孝次郎

ナブテスコ(株)
理事 住環境カンパニー
技術部門統括

■ 企画委員長 兼 自動回転ドア協議会委員長

武藤 春彦

ナブコシステム(株)
取締役常務執行役員 営業本部長

■ 安全委員長 監事

高杉 義幸

フルテック(株)
執行役員 開発本部長

■ 技能開発委員長

小崎 弘

扶桑電機工業(株)
執行役員 生産本部長

■ 事務局長

田中 隆行

全国自動ドア協会

■ 理事

相原 潤

北陽オートドア(株)
代表取締役社長

■ 理事

伊田 展充

ハシダ技研工業(株)
専務取締役

■ 理事

川村 弦

ナブコドア(株)
代表取締役社長

■ 理事

熊井 善之

寺岡オート・ドアシステム(株)
専務取締役

■ 理事

高柳 史郎

オリエント産業(株)
代表取締役社長

■ 理事

寺岡 宏司

昭和オート(株)
専務取締役

■ 理事

長屋 有紀

平安通商(株)
代表取締役社長

■ 理事

細山 健二

昭和建産(株)
代表取締役社長

■ 監事

鈴木 秀明

扶桑電機工業(株)
執行役員 営業本部長

※ 2026年6月時点

質疑

Q & A

応答

Q 2025年度は生産台数が減少したというのですが、建設業界全体の状況を見ると理解できる部分もあります。一方で、2026年度は増加予測となっていますが、これは現状維持を目指した数字なのか、それとも一定の確信を持って伸びると見ているのか、その考え方を教えてください。



ガラス新聞社

A 2026年度の予測については、正直に申し上げますと確実なものではないと捉えています。総会でもお話しした通り、首都圏への一極集中と地方需要の減少という状況はさらに温度差が開いています。会員各社からは、東京を中心とした関東圏、札幌、仙台、名古屋、大阪、福岡、そして熊本といった地域は比較的案件があると聞いています。

一方で、それ以外の都市や地域については需要は少なくなっています。業界全体でみると、決して景気が向いているとは言えません。そうした中で、地方の細かな案件と大都市周辺の大型再開発案件とのバランスを見ながら、2026年度の実産台数を予測いたしました。



内田会長

Q 全国自動ドア協会の一般社団法人化についてですが、その狙いについて教えてください。法人化によって協会活動で何か変わることがあるのでしょうか。現在の執行体制を改めて新体制へ移行するのか、それとも現体制を引き継ぐ形になるのか教えてください。またスケジュールはどうなっていますか？



日刊建設工業新聞社

A 当協会は任意団体として約50年の歴史があり、社会的な認知度や信用もいただいていると考えております。しかし、今後も永続的に協会を維持していくためには、組織運営やガバナンスをより明確にしていく必要があります。また、法人格を持つことで社会的信用をさらに高めることができるという点も大きな理由です。

協会としての体制が大きく変わることはありません。現在の協会体制を長く維持するために法人化するものであり、法人化によって活動内容が大きく変わることはないと考えています。執行体制は基本的にそのまま引き継がれます。

スケジュールとしては、現時点では2026年9月末頃を一つの目標としておりますが、認可や各種手続きが必要ですので、現時点では社団法人化の時期を明言できる段階ではありません。



田中事務局長

定期総会終了後、別室にて記者会見が行われました。記者の質問に対して、役員の方々が回答しました。



Q JIS A 4723について質問です。その意義についてあらためて教えてください。自動ドアの性能比較がしやすくなるとのことでしたが、具体的にはどのような性能を規定しているのでしょうか？



サッシタイムス社

A 従来は「公共建築工事標準仕様書」の中で自動ドアの性能が規定されていましたが、評価項目の一部には業界独自のルールに基づくものもありました。そのため関係官庁のご指導もあり、今回新たに試験方法を含めた性能規格として JIS A 4723 を制定しました。

試験・評価方法および評価基準が統一されることによって、各社の特徴や性能比較がしやすくなり、自動ドアを選定する際の客観的な基準としてご活用いただけたと考えています。

具体的には、開閉速度、耐久性、一般的な電気性能などがあります。さらに JIS A 4723 では耐風圧性能も規定しました。例えば強風下で正常に開閉できるか？といった性能です。またセンサーについても、これまでは業界独自の基準でしたが、検知方式ごとの試験方法を第三者の立場である JIS の観点で明確に定義しました。検知エリアなども対象になります。センサーにはさまざまな検知方式がありますので、それぞれに応じた試験方法を定義し、メーカー間でばらつきが出ないように規定しています。



林技術部会長



優秀
自動ドア
施工技能士

2026年度 優秀自動ドア施工技能士表彰

優秀技能士19名を発表!!

右記の方々は、厳正な選考の結果、全国自動ドア協会が表彰する2026年度の優秀自動ドア施工技能士に選ばれました。全国自動ドア協会では2009年から優秀自動ドア施工技能士表彰制度を制定し、今年で18回目を迎え、累計371名の方が表彰されました。



●受賞の言葉

優秀自動ドア施工技能士という賞をいただき、誠にありがとうございます。この賞を励みに自身の技術の向上だけでなく、人材育成にも力を入れて自動ドア業界の発展に貢献させていただきたいと思っております。本日は、ありがとうございました。

オリエント産業株式会社：山口 賢三 氏

	氏 名	推薦会社
1	山口 賢三	オリエント産業(株)
2	吉江 長和	寺岡オートドア(株)
3	舘村 弘文	寺岡オートドア(株)
4	勝居 徹	ナブコドア(株)
5	宮地 貴弘	ナブコドア(株)
6	遠山 俊二	ナブコドア(株)
7	水津 拓哉	ナブコドア(株)
8	白石 亮博	フルテック(株)
9	野村 智和	フルテック(株)
10	橋本 歩	フルテック(株)
11	福島 寛章	寺岡オート・ドアシステム(株)
12	古谷 茂	寺岡オート・ドアシステム(株)
13	齋藤 茂治	ナブコシステム(株)
14	小野寺 祐	ナブコシステム(株)
15	中村 政弘	ナブコシステム(株)
16	宮本 学	ナブコシステム(株)
17	加来 文武	ナブコシステム(株)
18	吉田 満久	ナブコシステム(株)
19	増子 哲也	扶桑電機工業(株)

(敬称略)

海外通信

日本とよく似て、どこか違う？ 台湾都市部の自動ドア

台北(タイペイ)の自動ドア



国立故宮博物院の自動ドア



台北市内の自動ドア



台北駅の自動ドア用センサー

JADA「警告表示ラベル」に良く似たステッカー
よく見ると「ガ」けこまない「た」ちどまら「は」いになっている。

都市部に普及するスライド式自動ドア

台湾都市部、台北(タイペイ)の商業施設やオフィスビル、病院、地下鉄の駅などではスライド式自動ドアが広く普及しています。台湾は日本と地理的にも文化的にも近い存在であり、街中で見かける自動ドアの仕様やデザインも日本とよく似ています。

センサーの検出範囲や開閉速度、光電センサーの設置、挟み込み防止対策など、その構造や安全対策は日本を参考にして整備されているようです。

街中にあふれる日本語表記

日本とよく似ている台湾の自動ドアですが、特に興味深いのは「日本語」の存在です。

たとえば台湾の自動ドアには、日本語で表記された押しボタンスイッチやタッチプレートが多く存在します。中国語の「推(tuī)」ではなく日本語の「押す」という文字が書かれていると、まるで日本製のように感じますが、実際には現地メーカーの製品がほとんどです。

また「軽く押して下さい」は台湾華語(台湾人が使う北京語ベースの中国語)で「請輕按(qǐng qīng àn)」と書きますが、なぜか日本語でそのまま「軽く押して下さい」と表示されているケースが多いです。

現地の人に話を伺うと、この背景には歴史的・文化的な要因があることがわかります。日本統治時代を経験した世代には日本語を理解できる人が一定数存在し、また若い世代においても日本のアニメや漫画、ドラマなどの影響で、日本語に親しんでいる人が多いといえます。そのため、簡単な日本語であれば直感的に理解されやすく、実用上の問題はほとんどないということです。

日本というブランド価値

台湾ではトヨタ、ソニーを筆頭に日本製品に対する信頼感が高く、日本語が表記されているだけで「高品質」「安心できる」といった印象を与えられるとされています。つまり、日本語表記は単なる説明文だけでなく、ブランドイメージの一部として機能しているのです。

台湾の自動ドアは、日本の技術や規格を参考にしながら、独自の文化的背景を反映した発展を遂げています。見慣れたはずの自動ドアであっても、そこに刻まれた文字ひとつに台湾と日本の繋がりが感じられるのは、非常に面白い点と言えるでしょう。

2025 年度（令和 7 年度）

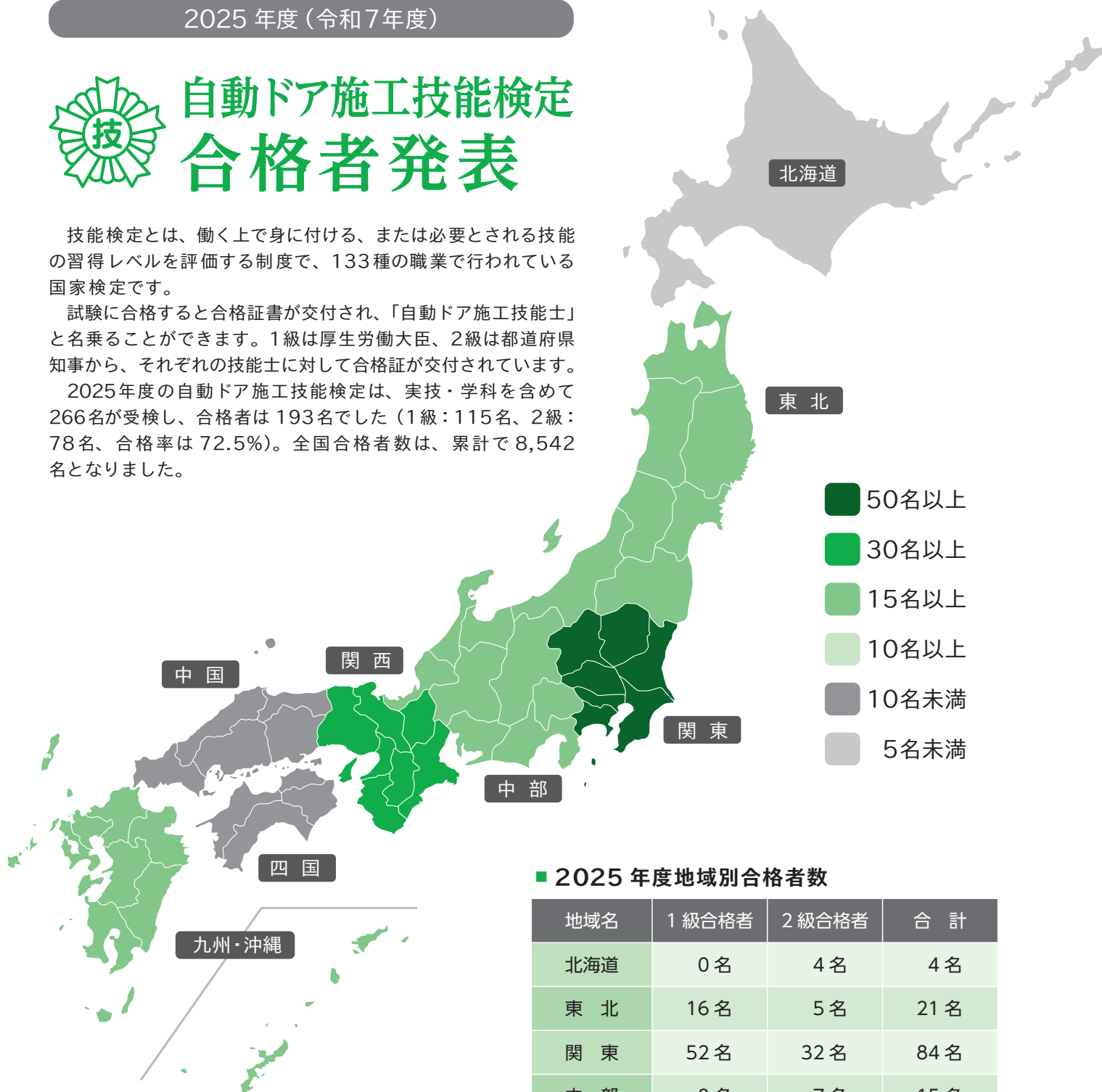


自動ドア施工技能検定 合格者発表

技能検定とは、働く上で身に付ける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する制度で、133種の職業で行われている国家検定です。

試験に合格すると合格証書が交付され、「自動ドア施工技能士」と名乗ることができます。1級は厚生労働大臣、2級は都道府県知事から、それぞれの技能士に対して合格証が交付されています。

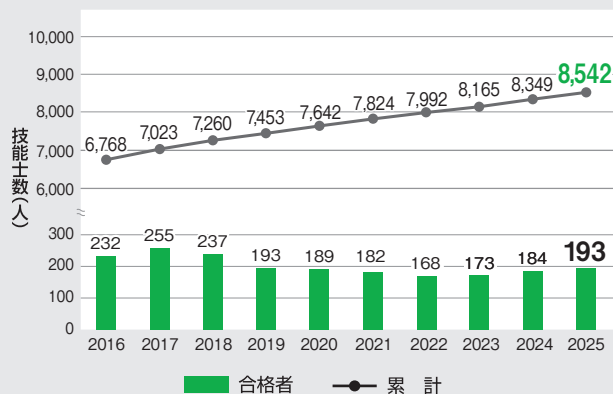
2025年度の自動ドア施工技能検定は、実技・学科を含めて266名が受検し、合格者は193名でした（1級：115名、2級：78名、合格率は72.5%）。全国合格者数は、累計で8,542名となりました。



2025 年度地域別合格者数

地域名	1 級合格者	2 級合格者	合 計
北海道	0 名	4 名	4 名
東 北	16 名	5 名	21 名
関 東	52 名	32 名	84 名
中 部	8 名	7 名	15 名
関 西	16 名	18 名	34 名
中 国	8 名	1 名	9 名
四 国	5 名	1 名	6 名
九州・沖縄	10 名	10 名	20 名

自動ドア施工技能士合格者数の推移



自動ドア施工技能士の試験について

国の定めた基準に基づいて、学科試験と実技試験が行われます。学科試験は文章の正誤を問う形式です。実技試験は1級・2級とも、自動ドア装置の取付・調整の作業を試験台にて行います。日程は、等級ごとに全国同時期に実施されます。合格すると技能士を名乗ることができます。

コーヒーづくりの最前線 — AGF 鈴鹿工場を訪ねて —

寺岡オート・ドアシステム株式会社 技術部 石川 博也

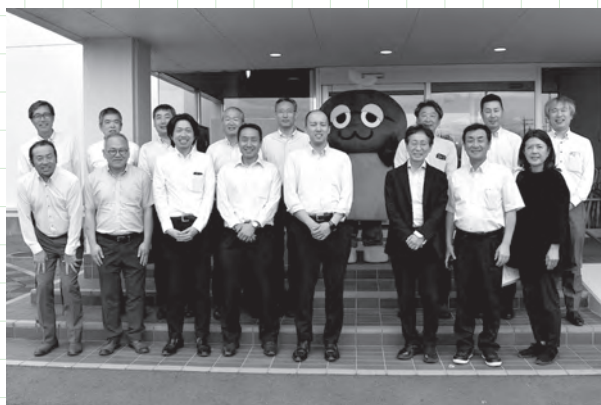


ピーン太くん

2026年5月21日、技術基準委員会・技能開発委員会・技能開発作業部会より、8社13名が出席し、2026年度技術部会合同会議が三重県津市にて開催されました。

会議は津駅近くの「三重県教育文化会館 会議室」にて行われ、林技術部会長(技術基準委員長)、小崎技能開発委員長、小池技能開発作業部会リーダー、三浦事務局次長より、2026年度技術部会事業計画、2025年度技術基準委員会・技能開発委員会の活動報告、2025年度技能検定結果、ならびに2026年度技能検定予定について説明があり、活発な質疑応答および意見交換が行われました。

会議終了後は、賛助会員であるオプテックス株式会社様、株式会社ホトロン様にもご参加いただき、合同懇親会を開催しました。日頃は競合関係にある参加者同士も、美味しい料理とお酒を囲みながら会話が弾み、終始和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。



AGF 鈴鹿株式会社 鈴鹿工場

翌22日は天候が心配されましたが、予想に反して晴天に恵まれ、爽やかな空気の中、午前中に伊勢神宮を参拝しました。伊勢神宮は天照大御神をお祀りする、日本人の心のふるさとともいえる場所であり、古くから「一生に一度はお伊勢参り」と言われる特別な地です。外宮に続いて内宮を参拝し、豊かな緑に包まれた参道を進む中で、心が穏やかに落ち着くひとときを得ることができました。総勢17名での参拝となりましたが、真摯に手を合わせる姿が印象的であり、それぞれが胸の内に思いを抱きながら参拝している様子がうかがえました。また、内宮近くを流れる五十鈴川は、参拝前に身を清める御手洗場として知られており、その澄んだ流れは古来より禊の場として受け継がれてきたことを感じさせ、心を洗うような清らかさに満ちていました。幾世代にもわたり多くの人々が祈りを捧げてきたこの地に立ち、過去と現在が静かに重なり合うような、温かく満ち足りた思いを覚えました。

昼食後は AGF 鈴鹿株式会社 鈴鹿工場を訪問し、工場見学を行いました。到着時にはマスコットキャラクター“ピーン太くん”が出迎えてくれて、記念撮影を行いました。同工場は1970年

に竣工し、広大な敷地に約395名が勤務し、インスタントコーヒー、スティックコーヒー、パーソナルドリップコーヒーなどを生産しています。



コーヒーができるまでの工程を丁寧に説明してくださいました

見学では、コーヒーができるまでの工程についてビデオを交えて説明いただき、海外での栽培から日本での焙煎・梱包までの一貫した生産体制について理解を深めました。見学時には白衣・ヘアキャップ・ブーツキャップを着用し、24時間稼働する自動ラインを間近で見学しました。工場内は衛生管理が徹底されており非常に清潔であるとともに、従業員の挨拶も丁寧で好印象でした。また、AGFの主力商品である「ブレンディ」の水への溶解性や、牛乳にも素早く溶ける様子の実演、さらにドリップコーヒーのおいしい淹れ方の紹介もあり、大変参考となりました。加えて、「森を守り水を育む」をテーマとした環境への取り組みについても説明を受け、環境配慮への理解を深めることができました。

見学後は白子駅へ移動し、本年度の技術部会合同会議・合同見学会は全日程を終了しました。伊勢神宮での参拝では自然と調和した「時空を超えた祈りの空間」を体感し、AGF 鈴鹿工場ではコーヒーを通じて地球環境との共生について学ぶことができ、非常に充実した二日間となりました。



伊勢神宮

物語の中の自動ドア

芥川賞作家 小山田浩子氏
特別掲載

第18回

「自動ドア」

小山田 浩子

アパートの自動ドアが壊れた。外に出ようとして前に立っても開かない。どうも外から入る分には大丈夫のようで、だから、自動ドアそのものの故障というよりはセンサーの問題なのだろう。困ったなと思っていたらすぐ修理の人が来て夕方には解決した。

仕事から帰った夫にその話をした。「今日さ、アパートのエレベーターが壊れとってさ」「あー、うん、そうだったね」夫も頷いた。「朝、仕事行くと、一回じゃ開かなくて行ったり来たりしてたら開いたけど」「あー、朝はそうだったん、うちが行ったときは全然開かんでからね」「でも、さっきはもう、普通に直ってたけど」「そうそう、昼過ぎくらいにエレベーターに修理の人が来て」「ここまで話してから、ん？と思った。調子が悪かったのはエレベーターじゃなくて自動ドアだ。でも、なぜか私は自然にエレベーターと言いつつも夫もそれを理解した。なんでじゃ、と2人で顔を見合わせる。1つには、ドアが自動で開くという点はエレベーターも共通しているその類似、あとは多分、いままでの人生で、自動ドア、と口に出した頻度とエレベーター、と口に出してきた頻度の差ではないだろうか。

エレベーター、という単語を我々はしばしば口にする。3階だって、階段、それともエレベーターにする？ というようなことはよく言う。が、自動ドア、自動ドアって口に出して発話したことがあっただろうか。こんなに世界にあふれていて、それこそ自宅アパートを出入りするときも、スーパーでも郵便局でも銀行でもどこ

でも、それは目の前にあって開いたり閉じたりしているのにその名を呼んだことがない。まだ、回転ドア、の方が言うかもしれない。うち回転ドアが苦手だね……自動ドアの大半が透明だからかもしれない。触れることなく無言で開くからかもしれない（触らねば開かないタイプもあるが）。生まれたときから自動ドアがそこらにあった人と人生の途中で現れた人とでも違うかもしれない。あまりにありふれて、壊れたときしか意識に上らないもの……

他に手動なりなんりの出入り口がある場合はいいが、ない場合は怖い。実は、私は、開かない自動ドアを、ちょっとだけ手で押したり引いたりしてどうにか手動で開けられないか試みたのだ。が、ビクともしなかった。毎日毎朝毎晩何度でも黙ってすうっと開いていたのが嘘のように強固に動かない。本来これが動くものだと信じられないくらい、同情の余地もなにもないくらいそれは重くて硬くてつるつるしていた。もし、電気なりセンサーなりがダメになった状態でそこに自動ドアしかなかったら……それはまあエレベーターも同じだが、エレベーターがあつて階段がないという状況は稀でも、自動ドアしかない出入り口は少なくないような気がする。普段、意識もしないで口にも出さないでただただ恩恵に預かっている透明なものが、なにかのときには堅牢な壁となって立ちちはだかる……

一度壊れたものはまた壊れるかもしれない。以後、なんとなく、私は自動ドアを通るたびにうつすら祈るような気持ちでいるし、無事それが開くとんだか静かな奇跡のような気がするし、街のそういう無言のものをたちを作り上げ修理し維持していく人たちにつくづく感謝しなきゃなあ、とも思う。ありがとうございます。

※自動ドアは、原則として電源を切れば手動（手押し）で開閉可能になります。

『パイプの中のかえる』 出版：twilight / 定価：1,650円

「自動ドア」初出：日本経済新聞 夕刊プロムナード（2020年10月12日号）

“全部私小説だと思って書いている” 近くに遠くに潜むいろいろなものに、気づくことの面白さと不思議さ。日経新聞夕刊で半年間連載された23作品（「自動ドア」を含む）に、書き下ろし2本をくわえた、芥川賞作家・小山田浩子初のエッセイ集。

著者 ● 小山田 浩子（おやまだ ひろこ）

1983年広島県生まれ。2010年「工場」で新潮新人賞受賞。2013年、初の著書「工場」が第26回三島由紀夫賞候補となる。同書で第30回織田作之助賞受賞。2014年1月、「穴」で第150回芥川龍之介賞受賞。





北陽オートドア株式会社

北陽オートドアは、2024年4月に北陽電機と北陽オートドアサービスが合併してできた会社です。今までは自動ドアの開発・生産を北陽電機、販売・施工を北陽オートドアサービスが行っていました。2社が合併したことにより、設計から施工まで一気通貫体制ができ、よりお客様のニーズに応えた事業を行えるようになりました。

北陽の自動ドアの始まりは、1958年森下仁丹に納めた工場ドアが最初で、68年の歴史があります。アラビアンの商品名で、一般向けの自動ドアを発売したのは1983年で、同年に北陽オートドアサービスも設立されました。当時のドアの組立工場と、現在の北陽オートドアの本社社屋を写真に示します。

当社が新たに開発したのが、インターネットを活用した大型門扉向け遠隔監視装置です。大型門扉は郊外の飛行場など遠隔地に設置されることが多く、故障時の迅速な対応が長年の課題でした。この装置はコントローラに自己診断機能を搭載しており、故障が発生した瞬間、部品の状況をリアルタイムで解析し、その情報を施工会社へ自動送信します。現場に向かう前に原因と必要部品が特定できるため、一度の訪問で修理を完結できます。距離のハンデを技術で解消するこの装置が、門扉のアフターサービスを根本から変えます。

このように自動ドアだけでなく、今後は自動ドアの周辺機器に、新たな技術を使った商品を提供することで、お客様の満足度の高い商品開発を、進めてまいります。

〒561-0857 大阪府豊中市服部寿町2-22-2
<https://www.autodoor.co.jp>
 TEL 06(7633)0777



ドアの組立作業

会社概要

代表者	相原 潤(代表取締役社長)
事業内容	自動ドア装置 設計、製造、施工、修理、メンテナンス



2011年7月、全国自動ドア協会は「多機能トイレ用自動ドア安全ガイドライン」を策定しました。学識経験者や協会委員などによる検討会を設置し、国土交通省国土技術総合研究所の実態調査をもとに約半年間の検討を重ねて取りまとめられたものです。

それから15年。現在、多機能トイレ(バリアフリースイートイレ)は誰もが安心して利用できるユニバーサルデザインの象徴的な設備となっています。ガイドラインの要点をまとめたガイドブックは改訂を重ね、現在「歩行者用自動ドアセット〈バリアフリースイートイレ〉安全ガイドブック」として、JADA ホームページで公開されています。

「多機能トイレ用自動ドア安全ガイドライン」を策定

2010年1月に発生した多機能トイレ用自動ドアでの事故を受けて、全国自動ドア協会は学識経験者、車いす使用者、協会委員などをメンバーとして「多機能トイレ用自動ドアのガイドライン作成に係る検討会」を発足させました。

国土交通省国土技術総合研究所の実態調査等を基に2010年9月から作業を進め、2011年4月18日の第4回検討会を以って取りまとめを完了致しました。

本ガイドラインは、車いす使用者、オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)、高齢者、妊婦、乳幼児を連れた人などの多機能トイレを利用する人々が、より安全にトイレ出入口の自動ドアを利用できるようにするために配慮すべき事柄を示したものです。

今後協会内での準備の後、2011年7月1日付けで制定され、1年間の準備期間を経て、2012年7月1日以降に新規に設置される多機能トイレ用自動ドアに適用される予定です。



歩行者用自動ドアセット
 〈バリアフリースイートイレ〉安全ガイドブック

wattXplorer

電力データを、現場からクラウドへ。

IoTとは？

- 設備やセンサーをネットワークにつなぎ、現場の状態をデータで確認できる仕組みです。
- wattXplorerは、電力使用量・CO2排出量を見える化し、省エネ活動を支援します。



4つの特徴

01



リアルタイム把握

電力状態をすぐに確認

02



CO2可視化

排出量をデータで把握

03



クラウド連携

離れた場所から確認

04

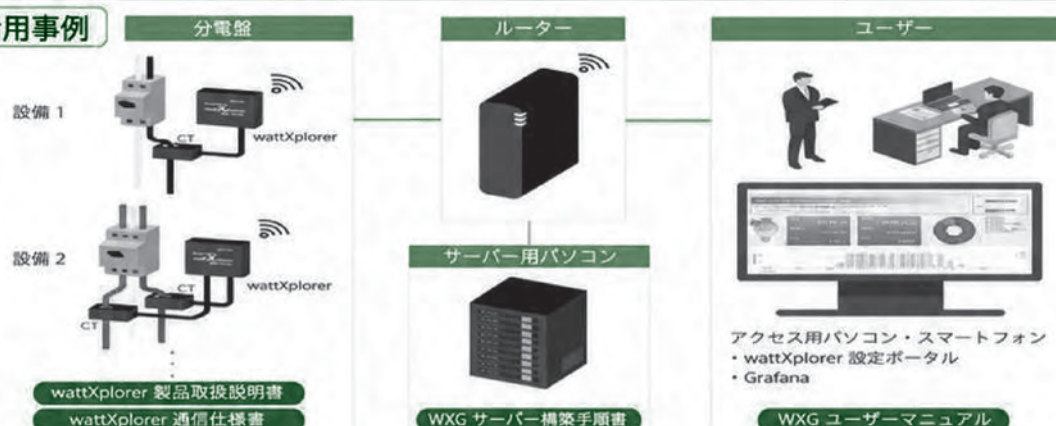


簡単設置

既存設備に後付けしやすい

電力の「見える化」から、ムダ削減と設備改善へ。

活用事例



旭光電機株式会社 神戸市兵庫区荒田町1丁目2-4

TEL:078-938-1503
info@kyokko.co.jp



● 新役員のご紹介



川村 弦(理事)

ナブコドア株式会社 代表取締役社長
〈略歴〉
昭和42年3月生
平成元年 ナブコドアエンジン株式会社
(現ナブコドア株式会社)入社
平成31年 執行役員 大阪支店長
令和6年 取締役 執行役員 営業本部長
令和6年 現職



長屋 有紀(理事)

平安通商株式会社 代表取締役社長
〈略歴〉
昭和59年12月生
平成25年 平安通商株式会社入社
令和7年 現職



高杉 義幸(監事)

フルテック株式会社 執行役員 開発本部長
〈略歴〉
昭和38年5月生
平成元年 東日本寺岡オートドア株式会社入社
(現フルテック株式会社)
令和7年 現職

● 古野副会長 退任のご挨拶

約28年間理事を務められた古野重幸副会長が、2026年6月で退任されることとなりました。
長い間、協会活動にご尽力いただき、ありがとうございました。



28年間の協会活動の中で最も印象に残っているのは、六本木ヒルズでの大型回転ドア事故を受けて、スライド式自動ドアの安全ガイドライン策定に携わったことです。基準作りというのは慎重論が出たり反対意見が出たり、見解が分かれるのです。議論が煮詰まって頓挫し掛かった時に、当時の和田会長には大きな後押しをしていただきました。また技術基準委員長であった上仲さんをはじめ、多くの方々のご協力によってガイドラインをまとめ上げることができました。

先月の理事会で、理事全員が出席するという出来事がありました。これは会長や事務局の呼びかけによるものであり、協会に対する皆さまの強い思いの表れだと感じています。私にとって最後の理事会が、このような形で開催されたことを大変嬉しく思います。

協会と会員企業は、どちらが欠けても成り立たない関係にあります。協会の発展は企業の発展につながり、企業の発展は協会の発展へつながります。今後も皆さまが力を合わせ、全国自動ドア協会がさらに飛躍していくことを心より願っております。本当にありがとうございました。

編集後記



4年に1度のワールドカップも終わり2030年のことを考えてみたりしますが、日本が1998年のフランス大会初出場から8回も連続で当然のように出場していることに改めて驚きます。日々の当たり前に感謝しつつ、4年後に向けて自己研鑽に励みたいと思います。

(T.T)



私は、福岡市東部に位置する志免町で育ちました。

福岡空港にも近く、高速道路へのアクセスも良いことから、現在では全国の町村で最も人口密度が高い町となり、福岡市のベッドタウンとなっております。

元々は石炭産業として栄えた町で、旧海軍や国鉄が主導し1964年(昭和34年)の閉山まで、石炭の採掘が行われていました。今でもその痕跡が残っており、国の重要文化財に指定されている「旧志免鉱業所竪坑櫓」が町のシンボルとなっています。

福岡にお越しの際には是非足を運ばれてみてください。ららぽーと福岡にはガンダムもいますよ。



実物大「RX-93ff Vガンダム」立像



旧志免鉱業所竪坑櫓

全国自動ドア協会 2026年度スケジュール (2026年4月～2027年3月)

	2026 年									2027 年		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
総会等			10日 定期総会			29日 研修会				15日 賀詞交歓会		
幹部会		20日			27日			11日			4日	
理事会		27日				10日		27日			18日	
企画委員会	24日			16日			22日			15日		
安全委員会	22日			29日			22日			21日		
広報委員会	21日			7日			22日		18日			
技術部会		21日										
技術基準委員会	10日		25日	28日		15日	16日	17日	17日			
技能開発委員会					28日							26日
技能開発作業部会		8日	12日	10日	4日	11日	8日				25日	

JADA

全国自動ドア協会

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
TEL 03-3436-3287 FAX 03-5473-9576
Eメール: jadainfo@pastel.ocn.ne.jp
URL: http://jada-info.jp

全国自動ドア協会 (Japan Automatic Door Association) は、1974 年 4 月に発足。自動ドアの製造およびその販売会社で構成され、社会に快適で安全な自動ドアを提供することを目的とした民間の団体です。

発行責任者: 広報委員長 古野元昭
編集・制作: (株)グループ・ティー
発行 月: 令和 8 年 7 月

本誌の内容は、JADA の HP でも閲覧いただけます
(発行日より約 2 年間)

